

「日本における若年層のLINEメッセージサービスの強迫的利用の調査」にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、日本における若年層のLINEメッセージサービスの強迫的利用の調査を実施しています。

【研究課題】

日本における若年層のLINEメッセージサービスの強迫的利用の調査（10882）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

研究責任者 川上憲人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野教授）

担当業務 データ収集依頼・匿名化・データ解析

【データ収集委託機関】

研究機関 株式会社マクロミル

担当業務 データ収集

【研究期間】

2015年07月27日より一年間

【対象となる方】

2015年7月27日～2015年7月28日に、株式会社マクロミルに登録している方で、16歳から23歳のLINEメッセージサービス利用者である方で、調査票（あるいは面接）に回答した方。

【研究の意義】

LINEメッセージサービスはeメールなどに代わり、日常生活の中心的なコミュニケーション手段となっている。最近の調査によれば、LINEは同種の簡易メッセージサービスの中でもっとも普及しており、利用者数は7000万人を数えるようになっている中、過剰なLINEの使用などの負の側面も注目されるようになってきている。しかしながら、その実態は定量的に把握されておらず、対策も進んでない。そこで本研究では、LINEメッセージングサービスの強迫的利用（調査票上はLINE依存）について実態の調査を行う。

【研究の目的】

LINEメッセージサービスの強迫的利用の実態やそのような状態に陥っている人々の特徴を明らかにする。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学

系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

上記の「対象となる方」のうち、本研究の調査に同意していただいた方に、事前に東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野が作成した質問表にお答え頂き、その結果が株式会社マクロミルより匿名化（回答が誰のものか特定できない状態にすること）された状態で東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野に、研究担当者専用パスワードにより保護された同社の Web サイトからダウンロードする形で提供されます。受領したデータは、厳重な管理の上、統計分析を実施し、学会・研究論文などでその結果を発表する予定です。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータは、インターネットから切り離されており、パスワードにより保護されているコンピューター上で保管し、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで [2017年5月29日までに](#)ご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究計画書や研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部精神保健学分野川上研究室の運営費（寄付金）から支出されています。

尚、回答への報酬として、マクロミルのサイトで使える 100 ポイントを付与させていただきました。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：任 喜史

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：ynin03-tky@umin.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1 ページ目の[研究課題名と審査番号](#)をお知らせください。